

ほかほかのごはん

深谷市立岡部西小学校 二年
大野 瑚子

わたしは白いごはんが大好きです。なにもつけずにそのまま食べる白いごはんが一番好きです。

おかあさんやおばあちゃんや「のりをつけようか？」とか「ふりかけをかけようか？」ときいてきますが、いつもことわっています。

だってなにもつけない白いごはんがわたしにとっては一ばんのごちそうだからです。おかずがなくても白いごはんだけでおちやわん二はいはたべることができません。

ときどきまぜごはんやおせきはんのときもあって、それはそれでおいしいのですが、それでもやっぱり白いごはんが一番なんだなあとおもいます。

わたしがとてもごはんが好きなのでおかあさんがわたしのようなおちやわんをたくさんかってくれました。その日の気分で今日はおちやわんでたべようかなあとえらぶのもまい日のたのしみです。

さいきんおかあさんにごはんのたきかたをおしえてもらいました。おこめをはかってお水でといでおかまにに入れてスイッチをおします。おこめをとぐときにおこめをこぼさないようにお水をきるのがとてもむずかしいけれど、これがあのほかほかごはんになるんだと思うとわくわくしてきます。

おかまからシューッと白いゆげが出てごはんのいいにおいがしてくると（もうすぐたけるんだ、はやくたべたいなあ）とまちきれなくなります。ごはんをよそうのはもちろんわたしのしごとです。おこめをつぶさないようにそっとかきまぜてからよそいます。おかあさんがそのときに「おちやわんのまわりにごはんがつかないようによそうんだよ。」とおしえてくれました。じぶんのぶんをよそう時わたしはいつも大もりにします。それをみてかぞくみんながわらいます。白いごはんは、わたしの元氣パワーのもとです。